

2023 年度事業実績及び 2024 年度事業計画について

資料 2 - 1

あいち森と緑づくり事業

2023 年度予算：2,370,002 千円、2024 年度予算：2,409,136 千円

1 森林整備事業（農林基盤局）

2023 年度予算：1,631,536 千円、2024 年度予算：1,670,519 千円

1) 人工林整備事業

2023 年度予算：1,556,410 千円、2024 年度予算：1,567,087 千円

ア) 人工林の間伐

2023 年度予算：1,444,198 千円、2024 年度予算：1,419,831 千円

林業活動では整備が困難な人工林の間伐を県が主体となって行う。中でも、防災・減災やライフライン確保の観点から、道路や人家への倒木、落枝や倒木による配電線の切断等の危険性が高く、早急に整備が必要な道路沿い・集落周辺や、流木対策のため間伐が必要と認められる河川沿いの森林の整備を重点的に実施する。

事業対象地	内容	全体事業量 (10年間)	2023年度計画	2023年度実績		2024年度計画
			事業量	実施箇所	事業量	事業量
・林業活動では整備が困難な 16～60 年生のスギ、ヒノキ人工林 (道路沿い・集落周辺・河川沿いを重点的に実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・調査、測量等 ・強度の間伐（原則 40%以上） ・伐採木の整理、集積（必要に応じて） ・伐採木の移動（道路沿い、集落周辺、河川沿いにおいては、原則、安全な場所まで移動） ・作業道の整備（作業効率向上のため） 	13,497ha (新規事業分を含む)	1,600ha	春日井市、小牧市、瀬戸市、岡崎市、豊田市、設楽町、東栄町、豊根村、新城市、豊川市 (10市町村)	960ha	1,400ha

※ 森林所有者と県が転用禁止等を定めた 20 年間の協定を締結する。

イ) 人工林整備促進支援【2024 年度新規事業】

2024 年度予算：11,000 千円

集約化が困難なことにより、手入れが遅れている小面積な人工林において行う間伐等に対して支援する。

事業内容	内容	全体事業量 (5年間)	2023年度計画	2023年度実績		2024年度計画
			事業量	実施箇所	事業量	事業量
集約化が困難な小面積の人工林の間伐等に要する経費を定額助成	<ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者調整 ・間伐 ・伐採木の整理、搬出 ・作業道等の整備 	100ha	—	—	—	20ha

※ 森林所有者と事業実施者が県に対し、事業実施後 5 年間は皆伐や転用を行わない旨の誓約書を提出する。

ウ) 次世代森林育成

2023 年度予算：112,212 千円、2024 年度予算：136,256 千円

森林が有する公益的機能を、将来にわたって持続的に発揮させるため、高齢化したスギ・ヒノキ人工林の皆伐後に行う花粉症対策苗木の植栽や、植栽後の獣害対策及び保育に対して支援することにより、森林の若返りと花粉発生源対策を推進する。

事業内容	内容	全体事業量 (10年間)	2023年度計画	2023年度実績		2024年度計画
			事業量	実施箇所	事業量	事業量
スギ・ヒノキ人工林を皆伐した跡地において、森林所有者等が行う植栽等に要する経費を定額助成	<ul style="list-style-type: none"> ・主伐において不採算となる人工林での主伐と集材 ・花粉症対策苗木（少花粉のスギ・ヒノキや広葉樹の苗）の植栽 ・獣害防止柵等の設置 ・保育（下刈り・除伐） ・事業地の見回り 	298ha	47ha	岡崎市、豊田市、設楽町、豊根村、新城市（5市町村）	10ha	47ha

※ 森林所有者と県が皆伐や転用禁止等を定めた 20 年間の協定を締結する。

2) 里山林の整備 2023年度予算：75,126千円、2024年度予算：103,432千円

手入れが行き届かず、竹の繁茂や枯損木が多く、鬱蒼として人々に利用されにくくなった都市近郊の里山林の整備を行う市町村に対する支援を行うことで、地域住民やNPO等が里山林を保全・活用し、快適な環境の形成や生物多様性の保全等の公益的機能を適切に発揮させるとともに、環境学習や保全活動の場として活用するなどの地域のニーズを支援する。

事業対象地	内容	全体事業量 (10年間)	2023年度	2023年度実績		2024年度
			計画 事業量	実施箇所	事業量	計画 事業量
・集落周辺等の里山林で、長期間手入れのされていない森林 ・整備後、地域住民やNPO等の活動団体による保全活用が計画されている里山林	・森林調査、測量 ・施設整備（管理道、作業小屋、森林整備機材等） ・地域住民等では実施が困難な森林整備	40箇所	4箇所	小牧市、東郷町、常滑市、南知多町、岡崎市、豊田市、新城市（7市町）※斜体部は新規箇所	2箇所 (継続5箇所)	4箇所

※ 森林所有者と市町村と地域活動団体が、皆伐や転用禁止等を定めた10年間の協定を締結する。（20年間→10年間）

里山林の保全・活用に関する正しい知識や技能を習得した指導者等の養成や里山林に関わる多様な人材の交流を推進する。

区分	内容	全体事業量 (10年間)	2023年度	2023年度実績		2024年度
			計画 事業量	実施箇所	事業量	計画 事業量
里山林保全活用指導者養成講座	・里山林の保全・活用に関する正しい知識や技能を習得した指導者等の養成	300人	30人	・養成者数 27名 内訳 森の自然教育コース 9名 森女養成コース 8名 里山暮らしコース 10名		30人
地域活動団体ネットワーク形成	・里山林に関する多様な人材の交流を推進	10回	1回	・開催 1回 NPO・グループ活動発表ひろばポスター展示		1回

2 都市緑化推進事業（建設局、都市・交通局） 2023年度予算：549,339千円、2024年度予算：562,384千円

都市における樹林地の保全・創出を図る事業や、民有地の緑化、県民参加で実施する緑づくり活動や都市緑化の普及啓発活動などへの支援を図るための事業に要する経費を市町村に交付する。

区分	内容	全体事業量 (10年間)	2023年度	2023年度実績		2024年度
			計画 事業量	実施箇所	事業量	計画 事業量
身近な緑づくり	・市街化区域及びその周辺で既存樹林地の保全及び環境改善、延焼防止などの機能を有する新たな緑地及び緑化施設の創出	60箇所	6箇所	大府市、西尾市、みよし市 (3市)	4箇所	6箇所
緑の街並み推進	・市街化区域及びその周辺での民有地の建物や敷地の緑化、並びに既存民有樹林地の活用	1,400件	144件	名古屋市、瀬戸市、春日井市、小牧市、尾張旭市、豊明市、日進市、北名古屋市、清須市、東郷町、長久手市、一宮市、犬山市、稲沢市、岩倉市、大口町、扶桑町、弥富市、あま市、蟹江町、半田市、常滑市、東海市、大府市、阿久比町、東浦町、武豊町、岡崎市、西尾市、碧南市、刈谷市、安城市、知立市、豊田市、みよし市、豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市 (39市町)	157件	150件
美しい並木道再生	・沿道又は近隣に公共施設（駅・公園・役場等）を有する市町村道及び県管理道路の並木道を再生	150箇所	15箇所	名古屋市、尾張旭市、一宮市、稲沢市、津島市、あま市、知立市、豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市 (11市)	14箇所	15箇所
県民参加緑づくり	・公有地において県民参加による樹林地整備、植栽、ピオトーブづくりなどの緑化づくり活動、体験学習や都市緑化の普及啓発の実施 ・市民団体等の活動に講師を派遣	1,200件	110件	名古屋市、春日井市、豊明市、日進市、清須市、長久手市、一宮市、犬山市、江南市、大口町、津島市、弥富市、あま市、常滑市、東海市、大府市、知多市、東浦町、岡崎市、幸田町、安城市、知立市、豊田市、みよし市、豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市 (28市町)	104件	101件

3 環境活動・学習等推進事業（環境局）

2023年度予算：60,196千円、2024年度予算：61,625千円

森と緑の持つ様々な公益的機能の発揮のためには、森林、里山林、都市の緑の整備・保全事業とともに、県民や地域との協働による取組の広がりが重要である。このため、多様な主体による自発的な森と緑の保全活動や環境学習の一層の進展を図るため、NPO等を対象に企画提案型の交付金事業を実施し、活動に対する支援を行う。また、生きものの生息生育空間をつなぐ生態系ネットワーク形成の取組を推進する。

区分	事業内容	全体事業量 (10年間)	2023年度計画	2023年度実績		2024年度計画
			事業量	実施箇所	事業量	事業量
環境活動・学習推進	<ul style="list-style-type: none"> NPO等が行う自発的な森と緑の保全活動や環境学習への交付金事業 講習会及び活動発表・交流会の開催 	750件	75件	名古屋市、豊橋市、一宮市、岡崎市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、大府市、知多市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、清須市、北名古屋市、みよし市、長久手市、飛島村、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町、設楽町、東栄町、豊根村（39市町村）	103件	75件
生態系ネットワーク形成推進	<ul style="list-style-type: none"> 生態系ネットワーク形成の取組への交付金事業 生態系ネットワーク形成の取組の成果を「見える化」する生物多様性モニタリング調査 	70件	7件	知多半島地域（知多市、東海市、大府市、半田市、東浦町） 西三河地域（岡崎市、幸田町、刈谷市、豊田市） 尾張北部地域（犬山市） 新城設楽地域（新城市、設楽町、東栄町、豊根村） 東三河地域（豊橋市、豊川市） （5地域、16市町村）	8件	7件

4 事業推進費（農林基盤局）

2023年度予算：128,931千円、2024年度予算：114,608千円

区分	内容	全体事業量 (10年間)	2023年度計画	2023年度実績		2024年度計画
			事業量	実施箇所	事業量	事業量
普及啓発事業	木の香る都市づくり	80件	3件	<ul style="list-style-type: none"> 採択施設数 6件（名古屋市2件、岡崎市、安城市、江南市、新城市）（5市） 採択施設用途 駅前複合商業施設、駅前複合ビル等 	6件	6件
	全国植樹祭開催理念継承イベント開催	—	イベント 2校 苗木のスケールステイ 3校	<ul style="list-style-type: none"> 学校の樹木を活用した森と緑づくりの体験活動を実施（岡崎市：1校、常滑市：1校） 2024年度愛知県植樹祭で配布する苗木の育成を実施（尾張旭市：9校） 	イベント 2校 苗木のスケールステイ 9校	イベント 2校 苗木のスケールステイ 3校
	森と緑づくり体感ツアー等	—	体感ツアー 1回 シンポジウム 1回	<ul style="list-style-type: none"> 体感ツアーを9/23(土)に、名古屋市・豊田市・長久手市で開催 シンポジウムを11/19(日)に、名古屋市で開催 パンフレットやリーフレット及びポスターを増刷し、関係機関やショッピングセンター、コンビニに掲示し、また各種イベント等でPRを実施 	体感ツアー 2コース 49人 シンポジウム 240名	体感ツアー 2コース (2回) 80人
推進事務費	<ul style="list-style-type: none"> あいち森と緑づくり委員会の開催 市町村説明会の開催及び事業調整等 	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 委員会は、会議形式で2回開催 また、事業地視察を4か所（木材利用、都市緑化、里山林整備、次世代森林育成）2回開催 説明会随時 	—	—

5 「あいち森と緑づくり事業計画」に関する進捗

事業	区分	10年間目標	1年目 2019年度	2年目 2020年度	3年目 2021年度	4年目 2022年度	5年目 2023年度	計 (5年目まで)	6年目 2024年度
人工林整備事業	人工林整備 (間伐)	13,397 ha	1,199 ha	1,122 ha	1,291 ha	1,185 ha	960 ha	5,759 ha	(1,400 ha)
	人工林整備促進支援 (補助)	100 ha			2024年度からの新規事業				(20 ha)
	次世代森林育成	298 ha	10 ha	13 ha	6 ha	11 ha	10 ha	50 ha	(47 ha)
	少花粉ヒノキ採種園、 広葉樹採種園の造成等	2 棟 0.7 ha	—	2 棟 1.2 ha	—	—	—	2 棟 1.2 ha	(—)
里山林整備事業	提案型里山林整備	40 箇所	4 箇所 4.76 ha	3 箇所(継続2箇所) 4.33 ha	4 箇所(継続3箇所) 4.37 ha	2 箇所(継続5箇所) 9.02 ha	2 箇所(継続5箇所) 6.67 ha	15 箇所 29.15 ha	(4 箇所)
	里山林保全活用 指導者養成研修	300 人	33 人	19 人 ※新型コロナ影響 により1コース中止	27 人	27 人	27 人	133 人	(30 人)
	地域活動団体 ネットワーク形成	10 回	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	5 回	(1 回)
都市緑化 推進事業	身近な緑づくり	60 箇所	8 箇所	7 箇所	4 箇所	6 箇所	4 箇所	29 箇所	(6 箇所)
	緑の街並み推進	1,400 件	121 件	136 件	161 件	153 件	157 件	728 件	(150 件)
	美しい並木道再生	150 箇所	11 箇所	15 箇所	15 箇所	18 箇所	14 箇所	73 箇所	(15 箇所)
	県民参加緑づくり	1,200 件	118 件	124 件	144 件	107 件	104 件	597 件	(101 件)
環境活動・ 学習等 推進事業	環境活動・学習推進	750 件	107 件	96 件	104 件	103 件	103 件	513 件	(75 件)
	生態系ネットワーク 形成推進	70 件	7 件	8 件	8 件	7 件	8 件	38 件	(7 件)
普及啓発事業	木の香る都市づくり	80 件	8 件	17 件	6 件	12 件	6 件	49 件	(6 件)
	全国植樹祭開催理念 継承イベント開催	—	イベント:2校 苗木のスクールステイ:3校	イベント:2校 苗木のスクールステイ:2校	イベント:2校 苗木のスクールステイ:4校	イベント:2校 苗木のスクールステイ:3校	イベント:2校 苗木のスクールステイ:9校	イベント:10校 苗木のスクールステイ:21校	(イベント:2校) (苗木のスクールステイ:3校)
	森と緑づくり体感ツアー	—	2コース1回:60人	1コース1回:40人	1コース1回:38人	1コース1回:39人	2コース1回:49人 シンポジウム:240人	5回 226人	(1コース2回:80人)

1 2023 年度 人工林整備事業（間伐）の事業実績

市町村	間伐面積 (ha)	うち防災減災 (ha)	搬出量 (m ³)	主な保全対象
春日井市	1.23	1.23	145.30	県道 53・178・453 号線
小牧市				
瀬戸市	6.88	6.88	41.50	県道 33 号線
岡崎市	94.93	87.50	87.00	県道 35・335・336 号線
豊田市	317.72	161.68	763.73	国道 153・257・301・419・420 号、 県道 33・77・349・357・363・366・ 477・486 号線
設楽町	121.30	121.30	2663.10	県道 429 号線
東栄町	86.44	86.44	529.10	国道 151 号
豊根村	89.53	51.65	415.50	国道 151 号、 県道 429・506 号線
新城市	217.81	137.86	2676.61	県道 37・81・363 号線
豊川市	24.09	22.29	37.21	県道 332・334 号線
合計	959.93	676.83	7359.05	



道路沿い 間伐前（豊根村）



道路沿い 間伐後（豊根村）



林内 間伐後（岡崎市）



木材搬出状況（豊田市）

1 2023年度次世代森林育成事業の事業実績

○植栽 実施箇所数：10箇所 面積：10.20ha

事業地	植栽面積 (ha)	獣害防止柵延長 (m)	植栽本数 (本)	植栽樹種
岡崎市木下町	0.32	264	480	コナラ、ヤマザクラ
豊田市坪崎町	1.24	514	1,860	ヒノキ
豊田市中当町	0.13	185	195	コナラ、クヌギ
豊田市梨野町	0.54	316	810	ヒノキ
豊田市田折町	0.30	490	450	スギ、コナラ、クヌギ
豊田市伊熊町	0.63	404	945	ヒノキ
設楽町津具	0.31	265	465	コナラ、クヌギ
豊根村下黒川	4.66	886	7,500	スギ、コナラ
新城市池場	1.25	670	1,875	スギ
新城市作手中河内	0.82	679	1,440	コナラ、クヌギ
計	10.20	4,673	16,020	

(補植 実施箇所数：2箇所 面積：0.54ha)

○下刈 実施箇所数：18箇所 面積：23.16ha



事業地全景（豊田市伊熊町 地内）
上部は2023年度植栽、下部は2024年度植栽予定



事業地全景（豊根村下黒川 地内）



植栽（豊根村下黒川 地内）
苗は少花粉スギのコンテナ苗



獣害防止柵設置（豊田市坪崎町 地内）
柵は高さ1.8m, 下部1mはステンレス入ネット

1 2023年度 提案型里山林整備事業の事業実績

市町村	事業面積 (ha)	主な整備内容 (地域活動団体)	事業年度
小牧市 大草太良上	[1.10]	森林整備、散策路整備 (小牧ヶ丘区、大草東区)	R4～R5
東郷町 大字諸輪	0.48	森林整備 (御嶽の里山を守る会)	R2～R6
常滑市 小鈴谷	[0.60]	森林整備、管理道整備、資材庫整備 (小鈴谷白山神社の社を守る会)	R3～R5
南知多町 内海	0.53	森林整備、管理歩道整備、資機材購入 (久須神社の里山を守る会)	R4～R6
岡崎市 岩津町	[2.10]	森林整備、管理道整備 (岩津城址保存会)	R3～R5
豊田市 押井町	4.10	森林整備 (押井地域森づくり会議)	R5～R6
新城市 八束穂	1.56	森林整備、管理道・遊歩道整備 (設楽原をまもる会)	R5～R6

[] 書きは前年度までに計上済



管理道横の立木の伐採（東郷町）



資材庫の整備（常滑市）



管理歩道の整備（南知多町）



木竹の整備（豊田市）

2 2023年度 都市緑化推進事業の事業実績

事業名	計画事業量	実施実績	説明
身近な緑づくり事業	6箇所	4箇所 (3市)	市街地の既存樹林を市町村が買い取り保全。市街地において新たな緑地の創出。
緑の街並み推進事業	144件	157件 (39市町)	市街地の民有地において、まとまった規模での優良な緑化工事費の一部を助成し、民有地緑化を推進。
美しい並木道再生事業	15箇所	14箇所 (11市)	都市の顔となる地区の道路において、美しい並木道を再生。
県民参加緑づくり事業	110件	104件 (28市町)	公有地で行われる県民参加による緑づくりを推進。

○各事業の事例



身近な緑づくり事業（大府市）



緑の街並み推進事業（名古屋市）



美しい並木道再生事業（稲沢市）



県民参加緑づくり事業（津島市）

3 2023年度 環境活動・学習推進事業の事業実績

○「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」の概要

「県民共有の財産」である森と緑を次世代に引き継いでいく必要があることから、環境活動・学習推進事業では、NPOやボランティア団体など多様な主体が行う自発的な森と緑の保全活動や、日常生活の中で次第に失われつつある森林とのふれあいなどを体験・学習する機会の提供を通じて森と緑を社会全体で支えるという機運を醸成する環境学習について、交付金を交付して支援している。

(1) 交付対象事業実績

区分	名称	応募件数	交付件数
環境保全活動	1 森・緑の育成活動事業 多様な生態系の保全やふれあいの場の創出など、健全な緑を保全・育成するための事業又は同取組を新たに立ち上げるために必要な事業	26	26
環境学習	2 水と緑の恵み体感事業 山・川・海つながりや人を始めとした生物が享受している水と緑の恩恵を学ぶ事業	14	14
	3 森林生態系保全の学習事業 森林生態系の保全の大切さや手法を学ぶ事業	14	13
緑の教室	4 太陽・自然の恵み学習事業 地球温暖化対策等に役立つ緑の生育や木質バイオマスの利用等を通じて太陽や自然の恵みについて学ぶ事業	21	19
独自提案	5 独自提案による環境保全活動・環境学習事業 上記の1～4に該当しない創意工夫を凝らした独自の生物多様性に関連した環境保全活動及び環境学習事業	37	31
		112	103

(2) 交付対象団体

NPO、ボランティア団体、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、自治会、私立学校等（愛知県内に活動の拠点を置く、5人以上の団体）及び市町村

(3) 限度額

1団体当たり 110万円（前年度から継続実施する団体は80万円、6年以上の団体は70万円）

○取組事例

<p>2 水と緑の恵み体感事業 【実施場所】西尾市</p>  <p>○三河湾の魚介類とごみの調査分別を行った。小学生や大人まで幅広い年齢の方に参加いただき、三河湾の価値と日頃からの環境活動やごみの削減の大切さを自分ごととして実感してもらうことができた。</p>	<p>4 太陽・自然の恵み学習事業 【実施場所】一宮市</p>  <p>○緑のカーテンのおかげで、日光が遮断され、室温の低下を感じることができ、節電にもつながった。環境学習を通じて、環境問題という難しい内容も児童たちが楽しく学習することができた。</p>	<p>5 独自提案による環境保全活動・環境学習事業 【実施場所】豊田市</p>  <p>○里山と湿地の大切さをテーマとしたミュージカルを上演した。SDGsや生物多様性の保全に係る話題を盛り込み、来場者に里山及び湿地の重要性をわかりやすく伝えることができた。</p>
--	---	--

3 2023年度環境活動・学習等推進事業（生態系ネットワーク形成推進事業）の事業実績

○ 「あいち森と緑づくり生態系ネットワーク形成事業交付金」の概要

「あいち森と緑づくり税」を活用して、県民、事業者、NPO、行政等の地域の様々な立場の人々が協働して、生き物の生息生育空間を保全・再生・創出し、地域の生態系ネットワークを形成する事業を支援する制度

1 交付対象事業

交付対象事業		事業内容
ア	ビオトープ創出事業	水辺や樹林地など生きものの生息生育空間を新たに創出し、地域の生態系ネットワーク形成を進める事業
イ	ビオトープ維持・向上事業	既にある生きものの生息生育空間を整備し、質の維持・向上を図る活動により、地域の生態系ネットワーク形成を進める事業
ウ	調査事業	上記ア、イの実施にかかる生態系ネットワーク形成のための調査

2 交付対象団体

生態系ネットワークの形成を目的とする、NPO・ボランティア団体・農協・漁協・森林組合・自治会・大学・企業・市町村等の複数の団体から構成される団体

3 限度額

1件あたり3,000千円

4 2023年度の実績

3団体（計5,667千円）



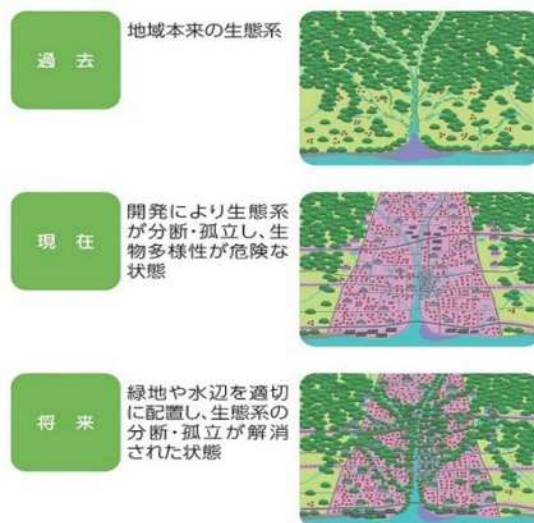
苗木循環育成モデル化事業

（西三河生態系ネットワーク協議会）

生態系ネットワークとは？

地域本来の豊かな自然環境は、様々なタイプの生態系が連続的につながって形成されており、これを「生態系ネットワーク」という。しかし、土地開発などによってネットワークが分断されると、野生生物の自由な行き来が阻害され、生物の多様性も影響を受けることになる。

開発と自然環境の保全との調和を図りながら、緑地や水辺などを適切に配置し、生態系の連続性を確保することが重要である。



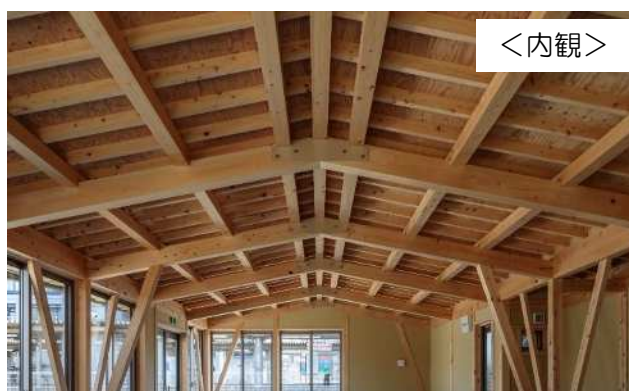
<生態系ネットワークのイメージ>

4 2023年度普及啓発事業（木の香る都市づくり事業）の事業実績

施設名	用途	所在	事業内容
	供用開始		
エニシオ名駅	賃貸オフィス 2023年8月15日	名古屋市中村区名駅四丁目8-26	高層ビルエントランスの木質化
あつた nagAya（あつたながや）	商業施設 2024年9月1日	名古屋市熱田区神宮三丁目608他	木造化
駅西小町	商業施設 2024年4月1日	岡崎市柱一丁目13-1他	木造化 内装木質化
バンドッグスタジオ BamdogStudio	スポーツ施設兼商業施設 2023年10月17日	安城市末広町4-1	木造化
布袋駅高架下商業施設	商業施設 2024年秋(予定)	江南市布袋町西布178	木造化
東名高速道路新城パーキングエリア（上り線）トイレ棟	高速道路PA施設 2024年夏(予定)	とみおかひがしかわ 新城市富岡東川60-469他	木造化 内装木質化



<外観>



<内観>

〔木造〕 駅西小町（岡崎市）



<完成予想パース>



<施工中>

〔木造〕 あつた nagAya（あつたながや）（名古屋市熱田区）